

平成29年度 学校自己評価システムシート（県立浦和東高等学校）

s23

目指す学校像 学力の向上と部活動の充実を図り、生徒一人ひとりの進路希望を実現する地域に根ざした学校

| | |
|------|---|
| 重点目標 | 1 学力の向上をめざし、授業改善と学習習慣の確立を進める。 2 規範意識を高める生徒指導と学習及び部活動の環境整備を進める。 3 進路意識を高め、進路希望の実現率を高める指導を進める。 4 開かれた学校づくりを推進する。 |
|------|---|

| | | |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上) |
| | B | 概ね達成(6割以上) |
| | C | 変化の兆し(4割以上) |
| | D | 不十分(4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | | |
|-----|----------|-----|
| 出席者 | 学校関係者 | 4名 |
| | 生徒 | 3名 |
| | 事務局(教職員) | 10名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | 年度評価（2月1日現在） | | |
|-------------|--|---|---|---|---|-----|---|
| 年 度 目 標 | | | 年度評価（2月1日現在） | | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |
| 1 | ①社会人基礎力として、基礎学力の向上を図り、学力を確かなものとするために、新しい学習指導要領の方向性を踏まえた授業改善を図る。 ②学習と部活動を両立させる。 | ①新しい学習指導要領の方向性を踏まえた授業改善に取り組む。 ②学習習慣を確立する。 | ①年2回の授業公開期間の実施。また、年次研修対象者による授業公開の実施。 ・生徒への授業評価アンケートの実施。 ・校外で開催される各種研修会への参加。また、そこでの学びを還元した授業実践と研修受講報告会の実施。 ・授業規律についての共通認識を持ち、その徹底を図る。 ②学習室、図書館の積極的な活用 ・家庭学習、朝学習の奨励 ・時間の使い方や集中度について指導する。 | ①年間2回の授業参観ができたか。 ・授業評価アンケートの結果を授業改善に生かされたか。 ・校外での学びを自らの授業改善に生かされたか。 ②学習方法、時間の使い方に工夫がみられたか。 | ①授業参観は2回の公開期間で合計51回であった。目標値には到達しなかったが、昨年度よりは増えた。 ・授業評価アンケートの結果を授業改善に生かしていこうという取り組みが見られ始めた。 ・授業改善に取り組む若手教員が増えているところに結びついている ②開講している補講への参加、学習室・図書館の活用などに積極性や工夫がみられた。 | A | ①授業参観の集計方法について検討を進めたい。また、他校の実践例を参考に授業参観の方法についての検討を進めたい ・授業評価アンケートは継続し、生徒が主体的に取り組むようになる授業の構築に努めたい。 ・若手教員が行う授業改善から授業改善の空気を全校に広めたい。 ②次年度は、さらに学習時間を増加させる手立てを考えていく。 |
| 2 | ①学校生活における基本的な生活習慣の確立に努め、社会の一員としての規範意識を醸成する。 ②環境整備を進め生徒の活動意欲を喚起するとともに安心・安全な学校づくりに努める。 | ①生徒の自主性を育む生徒指導を展開する。 ②美化・健康・防災に対する意識向上を図る。 | ①「高校生の交通安全教育推進校」として講演会やスクアード等で交通事故防止に努める。 ・問題行動を未然に防ぐために、教員間で初期対応の充実を図る。 ・ボランティア活動や学校行事を通じて成功体験を積み自己肯定感を育む。 ②環境委員会・保健委員会を活用する。 ・各委員会で現状の問題点を話し合わせ方策についての検討をさせる。 ・委員によるクラスでの呼びかけ活動を実施する。 ・防災訓練の実施方法の改善 | ①交通事故・問題行動が減少したか。 ・生徒の主体性を育成できたか。 ②問題箇所を改善できたか。 ・防災意識は、高まったか。 | ①交通事故報告書は40%増加した。問題行動の指導件数は減少した。 ・文化祭の生徒会企画では参加者も多く、生徒は主体的に参加していた。「まなびあい」や「ふれあい交流会」では1年生の参加や部活動単位での参加も多くなった。 ②防災訓練では、例年より実践的な訓練が実施できた。昨年からの検討していた教職員対象の救命講習の研修会を初めて実施できた。 ・環境委員会、保健委員会をこまめに実施し、生徒の意見を取り入れることができた。 ・防災訓練においても例年より短時間で避難することができた。 | B | ①「高校生の交通安全教育推進校」の取組を継続する。軽微な事故も報告させた結果、事故が多くなってしまったが、今後も講演会等を通じて繰り返し指導し、交通安全指導に努めたい。 ・生徒が主体的に活動できる場を多く提供できるように、生徒会と連携していく。 ②防火訓練に臨む生徒の意識を更に高めさせたい。危機管理体制を構築していくためにも、教職員対象の救命講習は次年度も実施する方向で考えたい。 ・環境委員、保健委員の発表する場面を多く設定できるように検討したい。 ・防災訓練の指導についても、より積極的に教員が関わられるように努めたい。 |
| 3 | ①計画的・系統的な進路指導を実践している。生徒一人ひとりの自己実現に向けて進路希望を把握し指導に当たる。また、大学入試改革への対応はもちろん、保護者との連携をさらに深める。 | ①生徒一人ひとりの進路実現に向けて多方面から指導に当たる。 | ①キャリア教育の充実を目標に丁寧な進路相談を実施する。 ・時期を見計らいながら効果的な進路資料の提供をする。 ・スタディーサポート（ベネッセ）の全校実施やその他の検定等を利用し生徒の学習意欲を高める。 ・保護者向け進路研修会を渉外部とタイアップして行う。 | ①実力診断テストの結果を検討し前年度との比較をする。 ・進路行事満足度は90%を超えたか。 ・上位私立大学合格者を若干名、中堅以上の大学合格者が100名以上、公務員合格者複数名、民間就職率100%を実現したか。 ・今年度の卒業生が進路結果に満足している割合が90%を超えたか。 | ①国語・数学・英語の総合平均点が11点向上した。 ・進路行事満足度は82% ・中堅以上大学合格150名。 公務員採用5名、民間企業就職7名 就職率100% ・進路満足度は95% ・PTA 進路講演会渉外部とタイアップして2月に実施 | A | ①生徒一人ひとりの進路希望実現のために動機づけから取り組み、高い目標をもって学習支援を行う。 ・高大連携に伴う入試改革に対応する進路指導を行うための教育観、指導方法の研修を継続する。 ・保護者との連携を密にして進路指導への理解を深める。 |
| 4 | ①HPなどを活用し、本校の教育活動を県民に広く発信する。今後も、本校に対する保護者、地域、並びに中学生からの信頼を高め、理解を深めるために、積極的に広報活動をおこない、教育活動をPRしていく。 | ①地域に根ざした学校、開かれた学校作りを推進する。 | ①年2回の中学校・塾訪問や年5回の学校説明会の実施、また、校外で開催される高校説明会への参加。 ・学校案内の工夫と改善を進め、HPでは情報の発信を頻繁に行う。 ・これまで進めてきた異校種連携をさらに進める。 ・保護者、地域住民の学校行事（公開行事に限る）への参加を促す。 | ①学校説明会などを通して本校への理解が深まり、進学意欲が高まったか。 ・HPの更新は頻繁に実施できたか。 ・異校種連携は進んだか。 ・保護者などの学校行事への参加者数が増加したか。 | ①学校説明会等を通して本校への理解及び興味関心を深めることができた。 ・HPの更新は頻繁に実施することができた。 ・異校種連携はこれまで同様に取り組んでいる。 ・保護者の行事参加が増え、満足度も高まった。 | A | ①学校説明会について他校の例を参考にさらに良いものとなるよう検討をしたい。 ・HPの更新はこれまで同様積極的に行っていきたい。また、HPを作成できる教員を増やす。 ・異校種連携もこれまで築き上げた絆をより強固なものにしたい。 ・地域に貢献し、信頼される学校を目指して職員、生徒、保護者とさらに活動していく。 |

| 学校関係者評価 |
|---|
| 実施日 平成30年 2月 2日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 |
| ①授業を見学したが授業規律がしっかりしている。先生方の授業力が高く積極的にコミュニケーションをとっている。生徒同士の人間関係も素晴らしく、生徒が活発に意見を述べ楽しんで授業を受けている。 ・先生方が校外の授業等に参加し授業力向上に努めている。更に多くの先生方を参加させ生徒の学力向上に繋げてほしい。 ②部活動が特に盛んであるが、アンケートを見ると勉強と両立している生徒は少ない。顧問も学習を促したほうが良い。 ・学習室を見られたのは良かった。素晴らしい施設なので保護者からも活用するように促したい。 |
| ①大きな交通事故はないが、件数が多いのが気になる。今後も啓発活動をお願いしたい。また、交差点で待つ場所などを考えリスクを減らしたほうが良い。 ・県指定の交通安全教育の取組を一過性のものにするのではなく継続してもらいたい。 ・件数の一つ一つを検証して原因を突き止め生徒に事故事例として示したほうが良い。 ②校内は、とても綺麗で隅々まで掃除が行き届いている。日頃の指導の成果である。 ・授業でAEDの実演を行っていた。生徒も真剣に取り組む素晴らしかった。救命の意識向上につながる。 ・災害は、いつ起こるかかわからないので日頃の指導が大切である。 |
| ①進路を早めに定めて取り組んでいる生徒は、結果に結びついていると思う。悩んでいる生徒には、先生方が一歩踏み込んであげることが大切である。 ・中堅大学に数多く合格しているが、これを満足として捉えるのではなく中位の成績の生徒をどう伸ばすか示してほしい。 ・進路行事満足度が高いのは、入学時から計画的に取り組んでいるからある。今後も変化を先取りして計画的に取り組んでいきたい。 ・保護者としては、子どもの進路に不安があったが先生方や先輩達の適切なアドバイスで安心できた。 |
| ①異校種との取組みが数多く行われている。参加した生徒は、児童・生徒との関わりの中で得るものが大きかったと思う。今後もこの取組みを継続し参加する生徒を増やしていただきたい。 ・学校説明会に数多くの生徒や保護者が参加している。それだけ関心の高い学校である。これからも学校説明会に参加した人の満足度を高めていけば受検生も増加すると思う。 ・ホームページの更新が素早く行われている。多くの人が見ているので学校をアピールするには最適である。 |